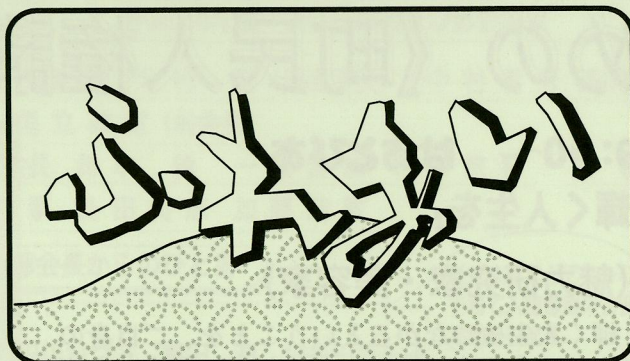


いろいろな人と人のつながり、  
ふれあいを美浜のMと波で  
イメージしました。



美浜町人権尊重啓発協議会会報

## 第48号

発行:平成24年7月23日  
(年3回発行)

編集:人権協広報調査部会  
連絡先:美浜町生涯学習課

TEL 32-6709

FAX 32-9032

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

# 「知的な障がいのある仲間から学んだ人間学」

## 第2回町民人権講座 (6月16日)

「障がい者」をテーマに、広島県の社会福祉法人『ひとは福祉会』理事長の寺尾文尚てらおぶんしょうさんに講演していただきました。

『ひとは』で働くすべての人たちを「仲間」とよび、その「仲間」から学ばれたことを時間いっぱい熱弁してくださいました。

「ぼくは頭が悪いから、彼女の頭を借りています。彼女は耳が悪いから、ぼくの耳を使えばいい。」という「仲間」の言葉を引用され、お互いにできないことを補い合える関係作りが大切で、それが真のノーマライゼーションにつながると話されました。ミーイズムではなく、「お互い様」という持ちつ持たれつの関係が障がい者との共存・共生の地域を作り出すということを教えていただきました。



年齢、立場、障がいに関わらず相手を思いやるスタイル、生き方を学ばせてもらいました。

「お互いさま」という言葉のすばらしさを改めて感じました。人間には得手不得手があり、それを補うようにして生きていると思います。

障がいのある方に対して、できない所に目を向けるのではなく、できる所に目を向けるべきだという話が、一番印象に残りました。

私は現在84才の高齢となりましたが、幼い頃、育った田舎の人々は細やかな愛情を自分の家族だけでなく、となり近所助けあって、はげましあって育てあったように思います。

# あなたのための 《町民人権講座》

## 第1回 6月24日(木) 19:00～ はあとびあ

「男も女も自分を活かし輝く人生を」

講師 <sup>みちこ</sup> マダム路子さん (魅力研究家・美容家)



男も女も前向きに生きることが、輝く人生につながるということを、ご自身の体験を交えながら話してくださいました。また、パワフルな話し方、華やかな衣装から先生ご自身の生き方を感じる講演でした。

「男女は同権にして異質」のことばどおり、それぞれの特性を活かし、それぞれが自分らしく生き生きと生きていくことが大切と感じた。常に前向きに一日一日を精一杯生きていきたいと思う。

生きている今が大切、質を高めること、みんなで協力する、人のために頑張る、母の姿、講演の中に散りばめられた人生訓は大変有益でした。

先生のさわやかで元気あるお姿とその内にあるすごい体験を聞かせていただき、明日からがんばろうと勇気をもらいました。

## 第2回 6月16日(土) 13:30～ はあとびあ

講師：寺尾文尚さん (ひとは福祉会理事長)  
「知的な障がいのある仲間から学んだ人間学」

※講演会の様子はP1に

## 第3回 7月8日(日) 13:30～ はあとびあ

電影紙芝居「季節はずれのサンタクロース」

上映：地球環境保護NPOレインボーさん

エコロジーシアターは環境イベントのテーマに合わせて、印象的なお話をつくり、電影紙芝居に朗読、音楽、効果音をつけて上演する感動のステージアトラクション。エコを本質から深く感じ、楽しんでいただくエンターテインメントです。

※終了



## 第4回 9月14日(金) 19:30～ はあとびあ

『絆の回復～人は独りでは生きていけない～』

講師：奥田知志さん (NPO法人北九州ホームレス支援機構理事長)

学生時代に訪れた大阪市・釜ヶ崎 (現あいりん地区) の日雇い労働者の現状を目の当たりにしボランティア活動に参加したことがきっかけで牧師の道を歩み始める。現在、北九州を中心に、5カ所の自立支援施設を運営し、この20年で600人以上のホームレスを自立へと導いている。その自立継続率も9割以上という驚異的な実績を持つ。

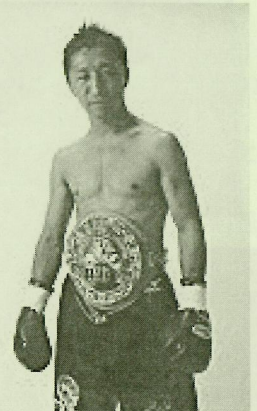
NHK総合  
「707エッショナル仕事の流儀」  
などにも出演!

## 第5回 10月18日(木) 19:30～ はあとびあ

『演題 未定』

講師：内藤大助さん (元WBC世界フライ級王者)

みなさんもご存じのボクシング元世界チャンピオンの登場です。いじめに合われた頃の経験やそこからプロを目指したときの思い、そして世界チャンピオンへの道。夢を実現させた内藤さんの生き方から学ぶことも多いのではないのでしょうか。

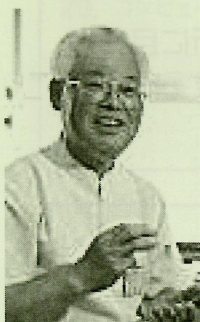


## 第6回 11月14日(水) 19:30～ なびあす

『演題 (仮) 老いと死から逃げない生き方』

講師：中村仁一さん (医師・高雄病院理事長)

『老いと死から逃げない生き方』『幸せなご臨終—「医者」の手にかかって死なない死に方』の著者で、15年以上にわたって、京都で「自分の死を考える集い」を主宰されてこられた中村先生をお迎えます。老・病・死に関して「生」を輝かせるために「死」を視野に生きることを提案していただきます。



平成24年度 人権協役員及び部会構成

名誉会長 山口 治太郎 (町長) 顧問 北村 晋 (議会議長) 中村 春彦 (副町長) 大同 保 (教育長)  
 参与 橋 惠慶 (元会長) 国立 政宣 (前会長)  
 会長 武藤 実学 副会長 藤本 悟 一瀬 繁紘 竹仲 敏春 監事 杉木 繁行 崎元 良栄  
 事務局長 鳥井 安夫 幹事 島田 貴志 加藤 睦教

人権協7部会の推進員及び小部会長からのひと言

総務人権部会

藤本 悟 熊谷純成 木野 隆 田辺かづ子 織田 清 和多田美千子  
 田中孝治 千葉榮雄 加茂正和 彦惣弘明 渡辺理佳 島田貴志

花火大会などではび  
 を着て人権尊重の啓発  
 活動をします。



広報小部会

一瀬 繁紘 森本 哲 木子隆史 原田登志子 宇都宮 貴  
 西野泰弘 山野泰孝 増田真司 竹内正雄

広報「ふれあい」48号~50  
 号を発行し、今年もみなさ  
 んに情報を提供します。



笑顔輝く美浜町を目指して、11月には  
 カラー冊子「ふれあい」を発行、文化  
 祭で体験コーナーを実施予定。お楽し  
 んに!!

啓発資料・人権協コーナー小部会

一瀬 繁紘 高橋一男 中村正一 森井みどり 竹本三代一  
 内田順子 山口絹代 後藤正輝 入江祥子

作品公募・意識調査小部会

一瀬 繁紘 河合政志 福嶋智恵美 渡辺直史 山口有一  
 中西恵美子 孫野正徳 武長加奈 志賀 司

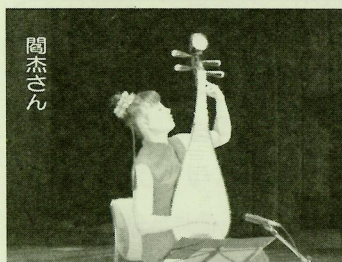
「ふれあい」をテーマにした短い手紙、写真、  
 絵・ポスターのご応募をお待ちしております。  
 笑顔の写真も募集しています。



おすすめの講師さんばかり  
 です。みなさんお誘い合わ  
 せの上、ご来場ください!

町民人権講座小部会

竹仲 敏春 森本克行 松井明彦 池本敏子 山口敏嗣 高木賢治  
 四ツ橋政和 田中涼子 森下秀樹 野原佐智夫 和多田康宏



今年は12月8日(土)に、現在建設中の  
 「なびあす」で行う予定をしていま  
 す。今年の企画をおたのしみ!!

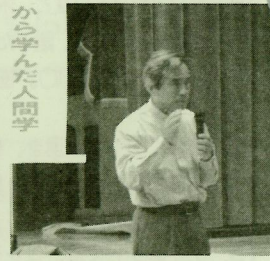
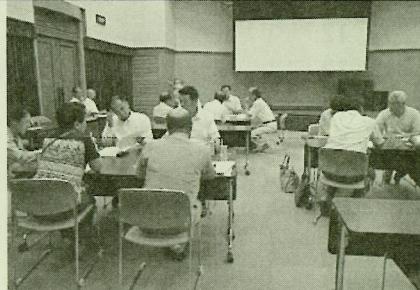
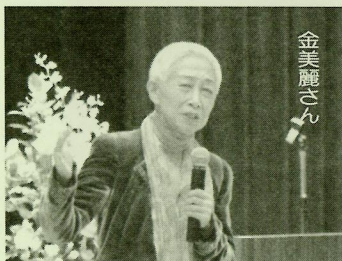
人権のつどい小部会

竹仲 敏春 津原露美 加藤美千代 木子雅之 中嶋さき子  
 関口博美 西村康政 藤田大輔 池田達弥

推進団体学習小部会

竹仲 敏春 松田うめ子 兵庫賢一 大塩友之 高木孝子 畠中治男  
 寺田真一 佐竹 敏 武田 晋 岸本 悠 江南恵美子

各集落でぜひ学習会をもつ  
 てください。200本を超える  
 研修用ビデオの活用を!



「人を大切に、人と人のつながりを大切に、社会であってほしい。」切なる願いです。それだけに、いじめなどの報道を見聞きするたびに、いたたまれない気持ちになります。ことばは心を直に伝えます。あることばで心が温かくなることもあれば、一言で心に大きな傷を負わせることもあります。ことばには十分気を配りたいものだと思います。

ところで、日本には、美しいことばがたくさんあります。中でも、特に大切にしたいと思うのは、「ありがとう」「おかげさまで」などの感謝の心がこもったことばです。これらのことばを通い合わせる事によって、自然な形でつながりが深まります。そして、感謝の心が思いやりの心を育むのだと思います。

あいさつも同じことだと思います。心のこもったあいさつこそ、つながりを深める原点ともいえるものです。自分から先に、笑顔であいさつすることを心がけたいものです。心を形に表すことが大切だと思います。

本校では自分からあいさつをしようとする生徒が増えてきているように感じ、嬉しく思っています。つながりと感動のある生活は、人権の基礎・基本であるとも言われています。心地よいあいさつ、優しいことば、思いやりのある言動が行き交う学校であってほしいと願っています。



心を形に

美浜中学校校長  
 小坂 俊夫

# こえ 声 こえ

「ふれあい」第47号をお読みになった読者の方より、おたよりが寄せられましたので一部を紹介します。

○人権作品を見て、家族やまわりの人たちに対して心あたたまる言葉があふれていて、とても感動しました。  
(新庄Tさん)

○「人権のつどい」が楽しみで毎年参加しています。内容もすばらしく次回を楽しみにしております。「ふれあい」も写真入りですので、当時の感動を思い出しています。「クロスワードパズル」も頭のトレーニングに丁度いいです。孫を相手に楽しんでいます。(郷市Tさん)

○荒川先生の「祈り」と「感謝」の文章に心をひかれました。ご両親を亡くされた寂しさに加え、義理のお兄さんも続けて亡くされたことで「命のはかなさ」を強く感じられ、この言葉が大きく心を占めることになられたようです。

私も朝に祈り、夕べに感謝して生きていきたいと思えます。  
(佐田Kさん)

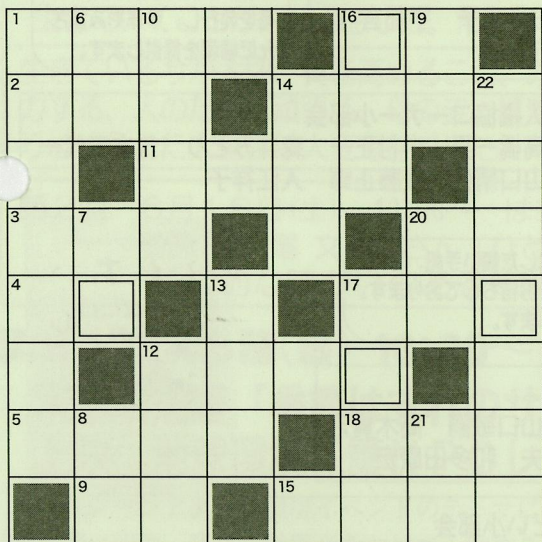
## ■応募方法■

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。  
〒919-1192 美浜町郷市25-25  
美浜町生涯学習課内 人権協事務局
- 〆切は、平成24年8月31日(金)です。
- 正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りします。
- なお、前号の「人権クロスワード」の正解は、「ひとりだち」でした。当選者は次の皆様でした。おめでとうございます。

川口みどりさん(木野) 川藤 準也さん(久々子)  
川崎 幸江さん(早瀬) 嶋田恵梨花さん(麻生)  
田辺 緑さん(郷市)

## 人権クロスワードパズル

二重わくの中に入った文字を使ってできる言葉が答えです。



### よこのカギ

1. 7月1日は〇〇〇〇の日。日本初の児童文芸誌『赤い鳥』の創刊を記念して定められました。
2. 夏の味覚。アンデス〇〇〇、プリンス〇〇〇、ホームラン〇〇〇など。
3. 乗り物中心の遊園地のこと。多摩〇〇〇、朝霞〇〇〇など。
4. 反対の意見のこと。
5. リンゴやブドウなど、木や草の実のこと。
9. 遊びに用いる球。蹴ったり手でついたりします。
11. 7月7日は〇〇〇〇。笹の葉に願い事を書いた短冊をぶら下げます。
12. 砂漠にある水が湧き、樹木の生えているところ。
14. 前髪を眉の上で揃え、後髪を襟足辺りで真っ直ぐに切りそろえた髪型のこと。
15. ダイエットでは、コレを気にしながら食事を取ります。
16. 美浜町では、コレが面積の約8割を占めています。
17. 胸の部分を囲む骨のこと。ろっ骨ともいう。
18. 寿司屋におけるワサビのこと。
20. コンピューターのプログラムの誤りのこと。

### たてのカギ

1. DVのD。家庭的、家族的を意味する英語です。
6. はっきりと覚えていない様子。〇〇覚え。
7. ネクスト
8. 小麦粉を溶かしたときの固まりのこと。
10. 【選択問題】このカギの回答形式は？ ①:まったく ②:にたく ③:さんたく ④:よんたく
12. 子どもの世話をすること。
13. 7月6日は〇〇〇〇の日。白鍵と黒鍵で音楽を奏でる楽器です。
14. 幽霊や妖怪の類のこと。
16. 貴人が住む家のこと。
17. 翌檜と書く、ヒノキ科の常緑針葉樹。
19. 日本では、竹と梅と共に長寿を表す縁起のよい木とされています。
20. あるトランプゲームにおいて、ジョーカーがこう呼ばれることもあります。
21. そのままでは1/1000ですが、後ろに「オン」を付けると1000000になります。
22. 7月31日は〇〇〇〇〇〇〇〇の日。1988年のこの日に北九州市で第1回選手権が開かれました。

一人でも多くの方に来ていただくために知恵をしょうりませう。会場へ向かう皆様の一步一步が人権協の歩みであり、私たちスタッフの元気の源です。  
(注：三つとも、役員会等の許可は得ておりません、あしからず)  
猛暑、残暑と続きます。がんばりすぎて「オーバーワーク」にならないようにしてください。自分もひと大切に。

### ネットワーク

町民の皆様のおかげで、人権協の使命であり、願いです。その先には、町外そして県外へも。人権尊重に垣根(かさね)はありません。  
ネットワーク

### チームワーク

七つの部会が力を合わせてがんばります。自分の意志でメンバーが集まっているのが美浜町の人権協の誇りです。  
チームワーク

人権協十七年目がスタートしました。人間でいえば青年です。元気ががんばります。そこで、気合いを入れるために、勝手にスローガンを。  
人権協十七年目がスタートしました。人間でいえば青年です。元気ががんばります。そこで、気合いを入れるために、勝手にスローガンを。

## 編集後記